

## TOPICS

### 小・中学生のための TSB ファッションカレッジ 2025 2025.8.3 [本学]

服飾文化専攻が毎年行っている「小・中学生のための TSB ファッションカレッジ」。今回のテーマは「手描き捺染 オリジナルハンカチをつくろう!!」です。服飾文化専攻の伊豆田友美講師・学生スタッフと共に 45 cm × 45 cm の布を好きな色を染め、オリジナルのイラストや絵を描いて、世界に一つだけのハンカチ作りを行いました。子どもたちは、「どうやって色が染まるのか」を学びながら、一生懸命に色を染め付けていました。それぞれの力作とともに、最後は修了証をお渡しました。



### 株式会社利久と考案 「彩り牛たんビビンバ」弁当販売！ 2025.6.25～7.13 [宮城県内イオン6店舗]

株式会社利久様とイオン東北様のお力添えをいただき、健康栄養学専攻4年生が考案した「彩り牛たんビビンバ」弁当が商品化されました（担当教員：川俣幸一教授）。食べやすい厚さにスライスし南蛮味噌で味付けした牛たん・5種類のナムル・ピリ辛のコチュジャン・ライス・とろり食感の温玉がベストマッチ！ピリ辛でご飯がすすむ、暑い夏を乗り切るのにぴったりな一品です。6月下旬より、宮城県内のイオン6店舗で販売され、たくさんの方々にご購入いただきました。



### 令和7年度 みやぎ県民大学 大学開放講座 木炭で、ありふれたものを描く 2025.8.19・20 [本学]

日頃見慣れたものをじっくり見て描くことで、新たな気づきがあります。宮城県在住の方を対象とした今回の公開講座では、美術表現学科の鈴木専教授と伊勢周平講師が指導を行いました。受講生は初めて木炭など描画材の使い方や描き方の基本についての説明を受け、その後作品制作に取り掛かりました。木炭の性質上、童心に返ったかのように手を汚しながら、木炭の描き味を楽しんでいただきました。講座の最後には、個性豊かな作品を並べて講評会を行いました。



## SCHEDULE 2025年度 後期の主なイベントスケジュール

※詳細が決まり次第本学 HP に情報を公開します。

2025年 10/18 (土)・19 (日) 大学祭

2026年 2/5 (金)～11 (水) 第58回美術学部卒業制作展 [せんだいメディアテーク]

2/20 (金) TSB FASHION SHOW 2026 [エル・パーク仙台]

3月下旬 高校1・2年生のためのデッサンセミナー

3月下旬 高校生のためのTSB ファッションカレッジ

## OPEN CAMPUS

大学 オープンキャンパス 10/18(土)・3/20(金・祝)、個別相談・見学会 12/6(土)

短大 オープンキャンパス 10/18(土)・11/30(日)・12/6(土)・1/24(土)・3/20(金・祝)



## PHOTO ALBUM

子ども生活専攻の学生が制作した作品が学内を彩っています。短大棟はもちろんのこと、大学・短大共有の6号館入口にも季節感あふれる装飾で、学生たちの心を癒す空間に。



東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部のことを  
もっと知りたい方はこちらから

大学・短大共通

HP

<https://www.mishima.ac.jp/tsb/>



大学・短大共通

SNS



短大

編集後記

本学の学びの核となる「生活文化」には、地域とのつながりが欠かせません。地域連携活動の写真撮影に行くと、学生たちがいつもとは違った輝きを放っている様子を目の当たりにします。彼らがこれから地域を創りあげる人材となることを期待しています。（学募広報課）

入試・オープンキャンパスに関するお問合せ

東北生活文化大学  
東北生活文化大学短期大学部

入試課・学募広報課

0120-20-7521

(平日 9:00～17:00)

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘 1-18-2



# 生文大通信

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 広報誌

No.6  
2025.October



## 特集

## 地域連携活動

## ワクワクふろじえくと

仙台市泉図書館にて毎週行われている「おはなし会」に、学生がボランティアで参加しました。対象は幼稚から小学校低学年の児童。絵本をただ読むだけではなく、図書館の方に教わったことを取り入れ、工夫して読み聞かせを行いました。このような実践が、今後の実習に向けての自信につながることを期待します。

# ワクワクぶろじぇくと 地域連携活動

2024.8-2025.9



## 加茂（の）水族館 2025.9.15 [加茂市民センター]

[メンバー] 食物栄養学専攻・子ども生活専攻 7名  
[担当] 米川純子講師

仙台市泉区加茂にある加茂市民センターと、山形県鶴岡の加茂水族館が連携して、子どもたちのSDGsに関する意識向上を目指すイベントに、昨年に引き続き今年も本学学生が参加しました。入口にはフォトスポットとして学生が作った顔出しパネルを設置。地域の子どもたちが楽しめるコーナー遊びとして、SDGsを意識した魚釣りゲームや、クラゲの缶バッヂ作り、ピーズのプレスレット作り、海の生き物のオリジナル紙芝居の読み聞かせ等を行いました。学生たちは地域の方々に積極的に声掛けし、交流を深めました。

## 透明骨格標本から学ぶ魚の不思議! 2025.6.29・7.6・7.20・7.26 [仙台うみの杜水族館]

[メンバー] 食物栄養学専攻 3名 [担当] 高瀬清美講師

小・中学生とその保護者を対象として、約1か月かけて魚の透明骨格標本を作製しました。標本作製の原理を学びながら、魚の多様な特性や食としての重要性についても一緒に考えました。

## 泉ヶ岳悠遊フェスティバル 2025.9.27 [オーエンス泉ヶ岳自然ふれあい館・市民キャンプ場]

[メンバー] ボランティアサークル 7名 [担当] 八巻美智子講師

ボランティアサークルの学生たちが、普段行っている震災ボランティア活動（アイリンブルー）を地域の方々に知るために、ハーバリウム作りのワークショップを行いました。中に入れるドライフラワーは本学の花壇で育てたものです。

## 杜の都のクラフトフェア 2024 2024.10.5 [サンモール一番町商店街]

[メンバー] 美術表現学科 12名 [担当] 立花布美子准教授

2日間で3万人を超える来場者があったクラフトフェアにブースを出店。簪置きやペーパーアート等、小物作品の展示販売を行いました。販売をとおして、学生たちは「商品」としての自分の作品とじっくり向き合う機会となりました。

## 水の森地域まつり 2024.10.26・10.27 [水の森市民センター]

[メンバー] 服飾文化専攻 7名 [担当] 川又勝子教授・菊地紗代講師

授業やファッショナブルサークルの作品を展示。展示期間中は多くの市民が来場しました。学生が中心となり展示作品の説明を行ったところ、観覧者からは昨年同様に好評を得ることができました。また、例年の要望に応えて一部作品を販売しました。

本学は「地域の未来を、共に創る。」というスローガンを掲げ、地域とつながる活動を大切にしています。今回はその中の一部である「地域連携活動（ワクワクぶろじぇくと）」を紹介します。「ワクワクぶろじぇくと」は、学生と教員がまちに住む人をワクワクさせるような地域連携活動です。学生にとっては、社会に参加し気付きを得られる機会であり、本学の魅力のひとつでもあります。



## 健康づくり講座 ～いざというときに備えよう、防災食～ 2024.8.24 [本学]

[メンバー] 健康栄養学専攻 7名  
[担当] 鳴原美智子准教授



虹の丘連合町内会主催で、健康栄養学専攻鳴原研究室が健康づくり講座を開催しました。はじめに、体を使った防災クイズを行ってから、災害時に必要な栄養についてのお話をしました。防災食の簡単調理・試食の際には、学生たちは参加者の調理補助を行い、和やかな雰囲気の中で実習が進みました。今回は、カゴメ株式会社様からご提供いただいた「長期保存が可能な野菜ジュース」や「トマトケチャップ」を使用。アルファ米と野菜ジュースを使ったカレーピラフと、密封袋を用いて鍋を汚さずに作るスパゲッティナポリタンを調理しました。試食した参加者からは「美味しい」との感想が聞かれました。



詳細は  
こちら  
click

## ユアスタークフェス 2025 2025.8.2 [ユアテックスタジアム仙台]

[メンバー] 子ども生活専攻・健康栄養学専攻 15名  
[担当] 廣瀬団准教授

本学からほど近いユアテックスタジアム仙台で行われた「ユアスタークフェス」。地域の子どもたちが水遊びを楽しめるキッズコーナーで、学生たちがお手伝いをしました。子どもたちの安全を考えサポートしながら、ウォーターサバイバル（手作りの障害物に隠れながら水鉄砲で打つアクティビティ）と一緒に楽しみ、みんな全身びしょ濡れに!大喜びする子どもたちと触れ合えて大満足の学生たちでした。この日は最高気温が 34°Cと、とても暑い日でしたが、思う存分水遊びをして、子どもたちにとっても、学生にとっても、特別な一日になったのではないでしょうか。

## さかな丸ごと食育 2025.9.4 [小鳩幼稚園・はやせ鮎 宮城鮎工房]

[メンバー] 食物栄養学専攻 1名 [担当] 高橋恵美准教授

幼稚園児たちが地域の資源である「鮎」を知り、触れ、食べ、つなげていく食育活動。学生は鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き試食体験活動の際に、園児への声掛けなどを行いました。地域の実践的な他業種連携に触れ、学びも深まりました。

## アームカバー企画・開発 2024.8.19-10.20

[メンバー] 服飾文化専攻 21名 [担当] 菊地紗代講師

NPO法人キャンパー様の依頼により、災害時の炊き出し活動用オリジナルアームカバーを開発しました。使いやすさと機能性を重視し、25組を製作。防災教育の一環としても取り組みました。

## 第 11 回こどものまち in りふ 2024.11.17 [利府町文化交流センター リノフ]

[メンバー] 子ども生活専攻 8名 [担当] 武田早苗教授

会場内につくられた非日常的な町で、小学生がお店を運営し、そのお給料で買い物を楽しむ企画。300 名超の入場者が訪れる中、本学学生は様々なブースで小学生に接客のアドバイスをしたり、商品を制作したりするなど、一緒に活動しました。

## ピアヘルパーボランティア 2024.8月 計 6回 [アトリエ自遊楽校]

[メンバー] 子ども生活専攻 4名 [担当] 米川純子講師

ピアヘルパー認定資格を目指している学生が、夏休み中にボランティアに参加。幼児クラスの「お面作り」、小学生クラスの「流しそうめん」等に関わり、企画を運営する難しさを実感。現場の高い保育スキルに触れる、大変貴重な機会となりました。